



## 大草のよさ再発見～災害への対応力～

諫早市に大雪警報が出されていた1月24日は、辺り一面雪模様の朝となりました。臨時休業にする学校や登校を遅らせる学校があった中で、本校では子どもたちがいつものように集まってきました。今回特に特別な措置をとりませんでした。それには次のような理由があります。

### ① 「校区の狭さと学校までの通学距離、集団登校」

通学路も比較的平坦な道が多く、集団登校をするので低学年も安心です。子どもたちは雪を集めたり、雪景色を眺めたり、楽しみながら通学したようです。保護者の皆さんも朝から連絡を取り合ってくださいましたのではないのでしょうか。このような連携の力も大きいですね。

### ② 「児童数の少なさ」

小規模校のメリットであることを再確認したところです。通勤できない職員がいても、カバーできる人数なのです。登校した子どもたちは、ランドセルを置くとすぐに運動場に飛び出して遊び始めていました。

いつでもこのようにいくとは限りませんが、比較的災害に強い学校であることを改めて再発見した1日でした。今後とも非常時へのご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

## 雪遊びの魅力

一目散に運動場に飛び出した子どもたち。年に一度できるかどうかわからない「雪遊び」の始まりです。先生に対して物を投げて当てていい、というのは普段でしたらドッジボールくらいでしょうか。それでもボールは一つですので回ってこないことも多いかもしれません。昨日の積雪の状態だと、雪玉はほぼ無限に瞬時に作ることができました。投げる力に関わらず、どの子も先生めがけて集中砲火を浴びせることができるのです。子どもにとっては、こんなチャンスめったにありません。私を含め、先生たちに思う存分投げていました。この逆転現象こそ雪遊び最大の楽しみであり、経験させたいことのひとつだったのです。そんな時間を作り出すことができ、よかったですと思います。保護者の皆さん、登校させてくださって本当にありがとうございました。（またチャンスがあるのなら、着替えを持たせておいていただけたらと思います。ストーブや暖房で乾かしはしたものの、やはり乾くのは遅いです。）

また、雪だるま改めモアイ像オブジェを作る際には、先生たちと子どもたちとで知恵と力を出し合いながら試行錯誤していました。協力して何かを作ることも味わった子どもたちにとって、特別な1日になったのではないかと思います。